

・「新しい公共サービスの創造と市民社会」セミナー第4回の開催

11月7日、津市・三重地方自治労働文化センターにおいて今年度の事業の一つである「新しい公共サービスの創造と市民社会」セミナーの第4回を開催しました。当セミナーは、三重大学人文学部教授 児玉 克哉氏を座長にお迎えし、いかに住民と行政が「協働」して地域づくりを進めるか、行政の立場から住民参加による公共サービスのあり方及びNPOなど住民側の公共への参画などをテーマにしています。

4回目は、ファシリテーターに四日市大学の小林慶太郎准教授と四日市市民社会研究所の金 憲裕副代表をお招きし、ワークショップ形式で行いました。

「自治基本条例」の内容を課題として討議し、住民自治における市民参加の仕組みづくりや合併によって行政地域が拡大し小回りが利かなくなったこと、あるいは組織の再編などの課題が出されました。また、市民参加の手法として、計画から実行、評価にいたるまで市民参加が必要であること。まずは、「住民参画の基本計画」のようなものをつくり、役所に担当課と予算をつけ、市民と情報を共有しながら住民自治を進めていくべき、などの意見が出されました。

なお、セミナーの内容については座長児玉三重大学教授のブログ「希望開発」にも掲載されていますのでそちらもご覧下さい。